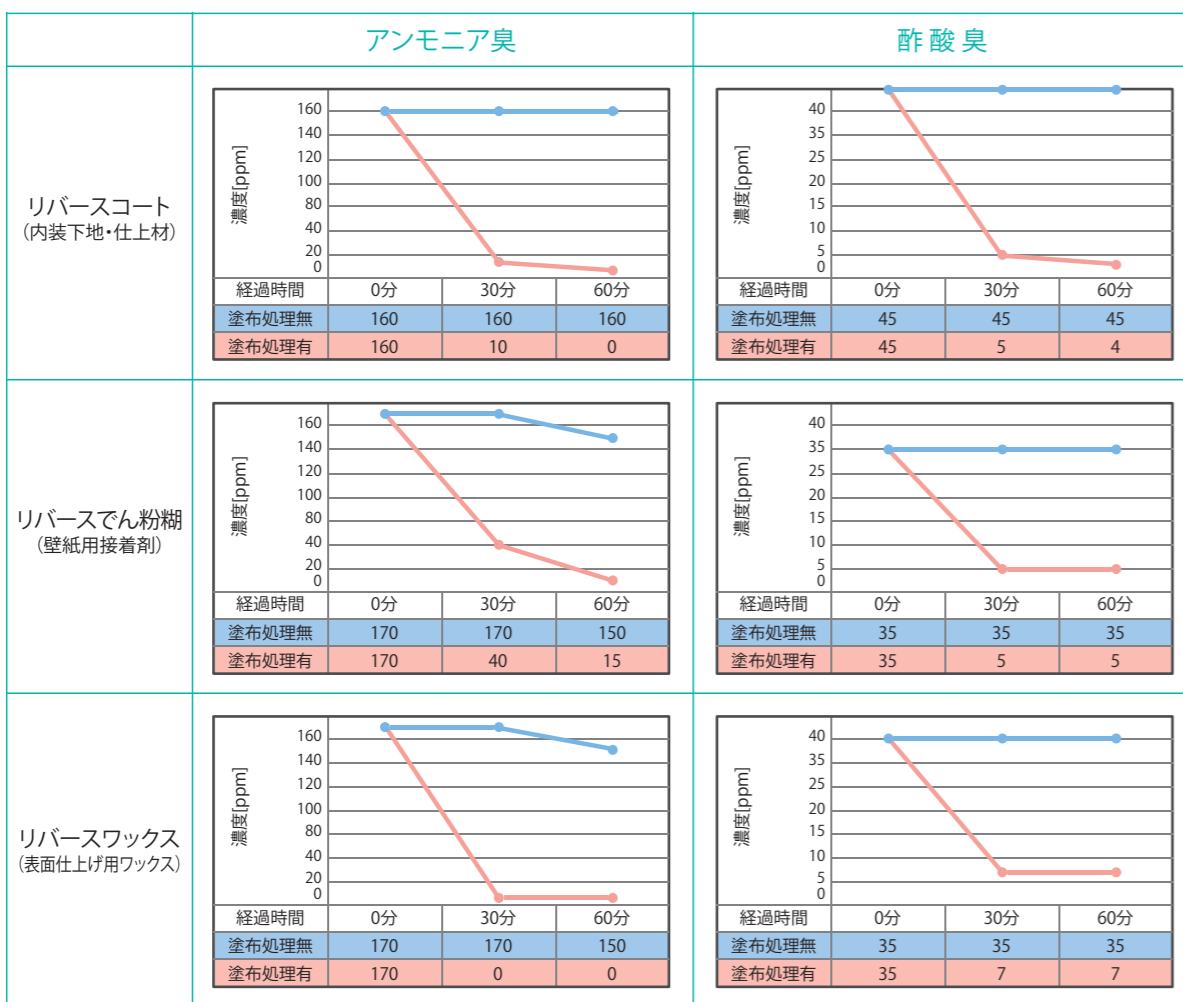


リバーシ工法の効果
その2

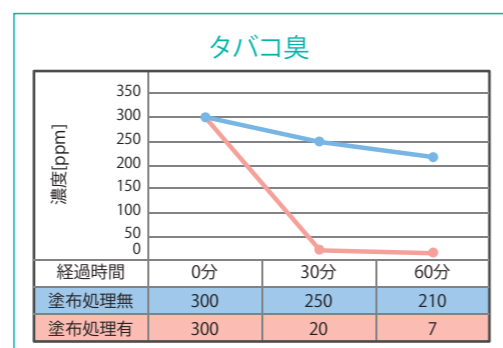
生活臭を分解する 消臭効果

臭いの要素である「アンモニア (アルカリ性)」「酢酸 (酸性)」両方に効果有

リバーシ工法で施工したお部屋では、建材から放散する有害化学物質の臭いはもちろん、お部屋の気になる生活臭（調理・ペット・トイレ・介護臭など）も分解・低減し、さわやかな空気環境を保ちます。



アンモニアや酢酸だけでなく、アセトアルデヒドなど様々な成分が含まれるタバコの臭いですが、こちらでも、リバーシ工法で施工したお部屋では、施工していないお部屋よりも早くタバコの臭いが減少しています。



リバーシ工法の効果
その3

珪藻土 + リバーシ溶液のはたらきによる 調湿効果

珪藻土を利用した「リバーシコート」(P.17参照)を仕上げとして使用した場合

湿度を調整してカラッとさわやかな空気に

珪藻土はその細かい孔に水分を保持し、湿度が高いときには吸湿、低いときには放湿^{*}して湿度を調整するはたらきがあります。そのため、珪藻土を利用したリバーシコートを内装仕上げ材として使用することで、調湿効果が発揮されます。洗濯物の部屋干しなどによるジメジメした空気をカラッとさせてくれるため、カビ予防にもつながります。

^{*}冬は外気の湿度が低下しますので、珪藻土の放湿だけでは十分な湿度になりません。加湿器などを使って適度な湿度になるよう調整してください。

体感温度を下げ、涼しく、省エネに

夏 体感-3℃を可能にするカラッとした空気

人は汗をかくことで体温調節をしますが、これは汗が蒸発する際に発生する「気化熱」が皮膚の表面から体温を奪っているためです。

空気が乾燥して湿度が低いときは汗が蒸発しやすいため、体から熱が奪われて涼しく感じます。反対に湿度が高いときは汗が蒸発しにくく、気化熱も小さいため体温が下がりにくくなり暑く感じるのです。

珪藻土が湿度を調整して空気をカラッとさせることで汗が蒸発しやすくなり、体感温度を下げるすることができます。

冬 あたたかい空気が逃げにくく

寒い日にダウンジャケットを着るとあたたかいのはなぜでしょう？それは、羽毛の隙間にある空気が、体の周りのあたたかい空気を逃がさないようにするからです。また、気温が低い日でも発泡スチロールの上に手を置くとあたたかく感じます。これは、発泡スチロールが空気の層を持っているため、手を触れたときに自らの熱が跳ね返ってくるのであたたかく感じるのです。

空気は熱伝導率が低く熱が伝わりにくいという性質を持っています。珪藻土も空気層を持っているため断熱性に優れ、あたたかい空気が逃げにくくなります。

ほこりが付きにくく

湿度が低いと静電気が発生しやすくなりますが、反対に湿度が高くなると発生しにくくなるため、静電気の発生も抑えることができます。